

令和5年度 滋賀県「学校を核とした地域力強化プラン」研修会（市町事業担当者対象） 開催報告

1 趣旨 県で実施される「学校を核とした地域力強化プラン」に係る市町の事業担当者を対象に、事業の趣旨や運営上の留意点などを説明することにより、事業の円滑な実施を図る。また、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進方策についての理解を深め、普及につなげる。

県全域において市町の連絡体制の構築や情報の共有を推進するとともに、設置の拡大や運営の充実に向けた方策について情報交換する。

2 主催 滋賀県教育委員会

3 対象 (1) 「学校を核とした地域力強化プラン」事業主管課の担当者
(2) 各市町生涯学習・社会教育主管課担当者
(3) 各市町学校教育主管課担当者

4 日時 令和5年4月27日（木） 14:00～17:00

5 会場 滋賀県庁東館7階大会議室（大津市京町四丁目1番1号）
または、任意の会場（オンライン参加）

6 内容

○行政説明

- ・滋賀県における地域と学校の連携・協働推進方針について
- ・事業概要について
- ・今年度の研修について
- ・補助金事務および事業実施の留意点について

○講演

- ・演題：「こどものために みんなで つなぐ 地域とともにある学校 コミュニティ・スクール ～社会に開かれた教育課程の実現に向けて～」
- ・講師：西 孝一郎 氏
(文部科学省 総合教育政策局 CSマイスター
ひいらぎこども園 保育士)

○情報交換

- ・県内のプラン事業の推進状況について
- ・各市町における課題や成果等について



7 参加者数 37名（来場23名、オンライン14名）

8 講演の概要

目指す子ども像を達成するためには、社会に開かれた教育課程を実施しなくてはならない。また、社会に開かれた教育課程を実施する方策として、コミュニティ・スクールを活用していくこと、さらに教員一人ひとりが、カリキュラムマネジメントを実施していくことについて、4つの観点から図や事例をもとに丁寧に御教示いただいた。また、法令等の文言を参加者のわかりやすい言葉に変換し、「子どものために」「みんなで」「つながって」取り組むコミュニティ・スクールがこれからの教育活動に不可欠であることを、参加者で共有することができた。

9 参加者のアンケートより

- ・コミュニティ・スクールにおける目的、そしてキーワードとなる「熟議」「協働」「マネジメント」の意味について図や事例をもとにわかりやすく伝えてくださった。
- ・「子どものために」学校・地域の大人が手を取り合い、次世代の社会に生きる子どもの育成に関わるべきであると考えた。
- ・昨年度も聞かせていただいて大変わかりやすかったので、くり返し聞くことで、より理解が深まった。
- ・大変具体的な説明で、コミュニティ・スクールの意義が腑に落ちた。
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動を連携させていくことの必要性を感じた。
- ・コミュニティ・スクールのイメージをしっかりと理解することができた。
- ・コミュニティ・スクールの目指すところについて言語化されており、大変わかりやすかった。
- ・「なぜCSの設置が必要なのか」「どこを目指して事業の推進を図ればいいのか」など基本的なことをわかりやすく説明していただいたので、理解が深まった。
- ・他市町におけるコミュニティ・スクールに関わる取組や悩みについて共有することができ、県の課題や今後の見通しについて理解を深めることができた。
- ・導入が進んでいる他市町の様子を聞くことができ、参考にできる内容について活かしていきたい。
- ・他市町の進捗状況や推進する上での課題などが大変参考になった。
- ・共通の課題が見えたり、互いの状況がわかったり、良い場であったと思う。

